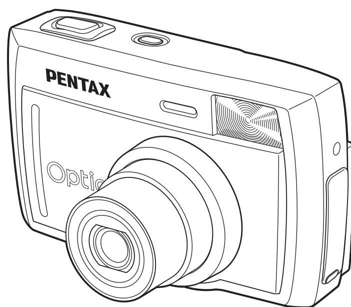
PENTAX®

デジタルカメラ

Optio 33L

使用説明書



カメラの正しい操作のため、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラOptio 33Lをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を充分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 液晶モニタに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99％以上の有効画素数がありますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

商標について

CompactFlash、コンパクトフラッシュおよびCFはSanDisk Corporationの商標です。
PENTAXはペンタックス株式会社の登録商標です。
オプティオおよびOptioはペンタックス株式会社の商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。
USBドライバは米国インシリコン社のソフトウェアを使用しています。
本製品はPRINT Image Matching IIに対応しています。PRINT Image Matching II対応プリンタでの出力および対応ソフトウエアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。PRINT Image Matching及びPRINT Image Matching IIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび液晶モニタの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。



警告　このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。



注意　このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。



警告

- カメラを分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- AC アダプタは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用下さい。専用品以外のACアダプタをご使用になったり、専用のACアダプタを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、電池またはACアダプタを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- AC アダプタ使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグをはずし、使用を中止してください。機器の破損・火災・感電の原因となります。



注意

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火のおそれがあります。
- 充電式のニッケル水素電池以外は充電しないでください。破裂・発火のおそれがあります。このカメラに使用できる電池の種類で、ニッケル水素電池以外は充電ができません。
- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こした時は、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。

取り扱い上の注意

- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用や逸失利益等）については、保証しかねます。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションなどを入れて保護してください。
- カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- コンパクトフラッシュメモリーカード（CFカード）の取り扱いについては、「CFカード使用上の注意」（p.16）をご覧ください。
- 破損や故障の原因になりますので、液晶モニタの表面を強く押さないでください。
- 液晶モニタを回転するときは、回転方向に注意して、無理な力を加えないようにしてください。故障の原因になります。

目次

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 準備

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作について説明しています。必ずお読みになり、撮影をはじめる前に、操作を行なってください。

2 クイックスタート

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影・再生をしたいときは、この操作方法をご利用ください。また、CFカードの活用方法についてご案内しています。

3 機能共通操作

各ボタンの機能、メニューの使い方など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、「撮影」「再生・消去」「設定」の各章をご覧ください。

4 撮影

撮影モードを切り換えるバーチャルモードダイヤルの設定方法や撮影シーンに合わせて選択するピクチャーモード、さまざまな撮影の方法など、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

5 再生・消去

カメラ・テレビでの再生の方法や消去のしかたを説明しています。

6 設定

カメラに関する機能の設定方法について説明します。

7 付録

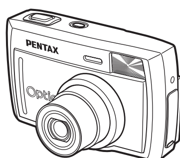
困ったときの対処のしかたや、別売品の案内をしています。

1
2
3
4
5
6
7

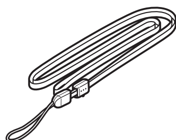
操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。
P, ピクチャーモード, 🎥, 3D, ...	項目の最初に表示されたアイコンは、その機能が使える撮影モードです。

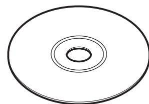
主な同梱品の確認



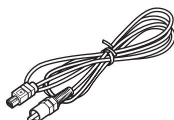
本体
Optio 33L



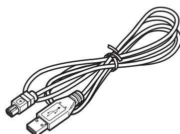
ストラップ
O-ST5（※）



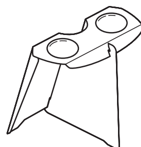
ソフトウェア
（CD-ROM）S-SW8



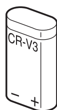
ビデオケーブル
I-VC2（※）



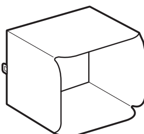
USBケーブル
I-USB2（※）



3Dイメージビュワー
O-3DV1



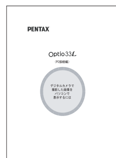
リチウム電池
CR-V3



液晶モニタ用フード



使用説明書
（本書）



使用説明書
(PC接続編)

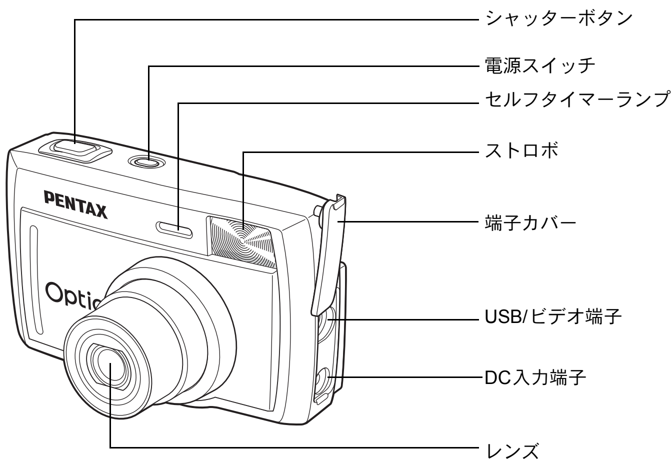


保証書

（※）の製品は、別売りアクセサリーとしてもご用意しております。
その他の別売りアクセサリーについては、「別売りアクセサリー一覧」（p.98）をご覧ください。

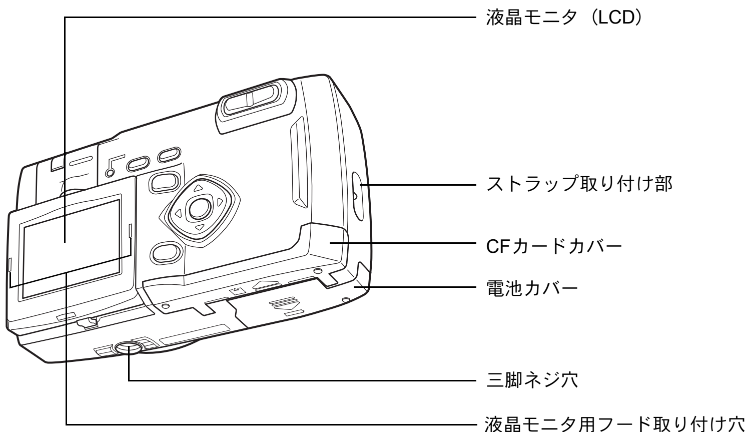
各部の名称

前面



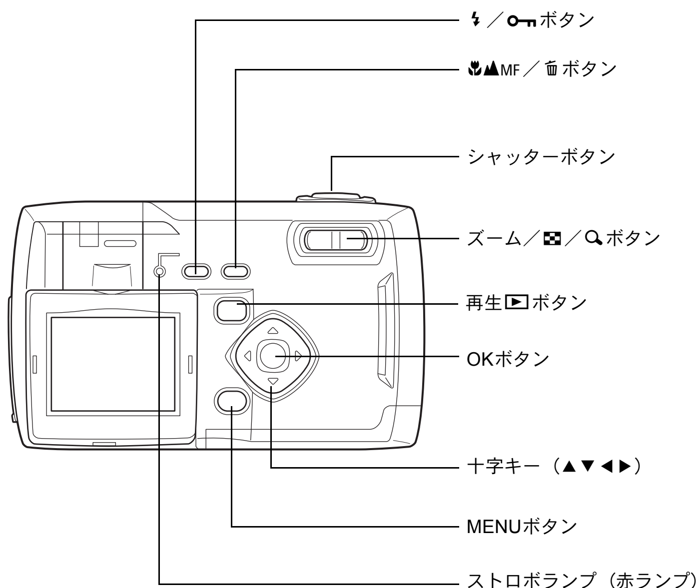
シャッターボタン
電源スイッチ
セルフタイマーランプ
ストロボ
PENTAX
端子カバー
USB/ビデオ端子
DC入力端子
レンズ

背面



液晶モニタ（LCD）
ストラップ取り付け部
CFカードカバー
電池カバー
三脚ネジ穴
液晶モニタ用フード取り付け穴

操作部の名称



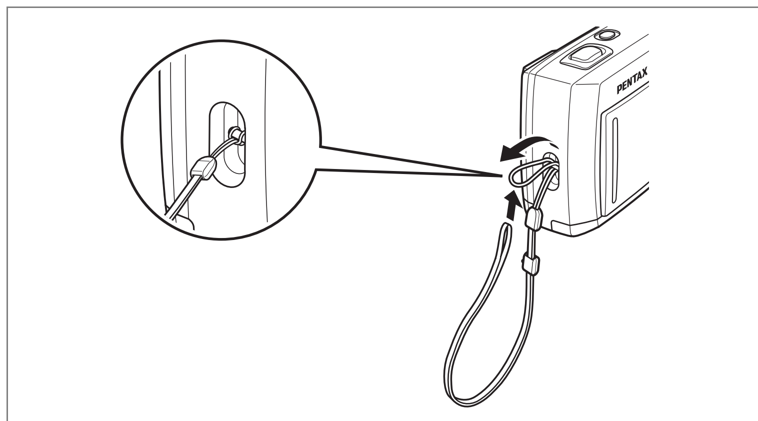
ガイド表示について

操作中は液晶モニタにボタン操作のガイドが表示されます。
ガイド表示では、ボタンは次のように表されます。

十字キー （▲）	▲
十字キー（▼）	▼
十字キー （◀）	◀
十字キー（▶）	▶
OKボタン	OK

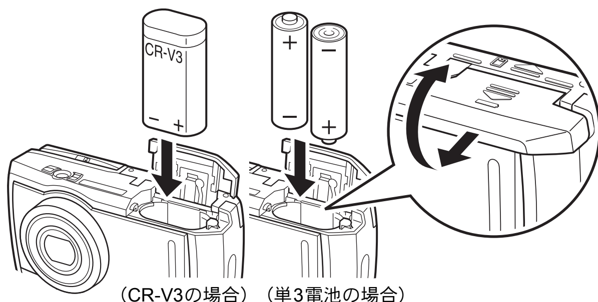
MENUボタン	MENU
ズーム／▦／🔍ボタン (デジタルズーム、拡大再生時のみ)	🔍
🗑ボタン	🗑
O‑ｍボタン	O‑ｍ

ストラップを取り付ける



ストラップの細いひもを、ストラップ取り付け部に通して取り付けます。

電源を準備する



電池をセットする

カメラに電池をセットします。電池はCR-V3を1本か、単3 リチウム電池、単3ニッケル水素電池、単3アルカリ電池のいずれか2本を使用します。

1　電池カバーを の方向にずらして、引き上げる

2　電池の向きを電池室内の⊕⊖表示に合わせて、挿入する

3　電池カバーを閉めて、水平方向に押し込む



長時間ご使用になるときは、ACアダプタキットK-AC5Jをご使用ください（p.14）。



- CR-V3（同梱の電池）、単3リチウム電池、単3アルカリ電池は充電式ではありません。
- 電源スイッチがオンのときは、電池カバーを開けたり、電池を取り出したりしないでください。
- 長い間使わないときは、電池を取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、電池が液もれをすることがあります。
- 長時間電池を取り外して、新しく電池を入れたときに日時がリセットされていたら、「日時を設定する」（p.19）の手順に従って、設定しなおしてください。
- 電池は正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。

撮影可能枚数と再生時間（常温・電池交換時）

●撮影（ストロボ使用率50％）

	撮影枚数
CR-V3	約 650 枚
単3リチウム	約 400 枚
ニッケル水素	約 270 枚
単3アルカリ	約 70 枚

●再生

	再生時間
CR-V3	約 450 分
単3リチウム	約 300 分
ニッケル水素	約 200 分
単3アルカリ	約 70 分

- この数値は、当社の測定条件によるものです。撮影モード、撮影状況により異なります。



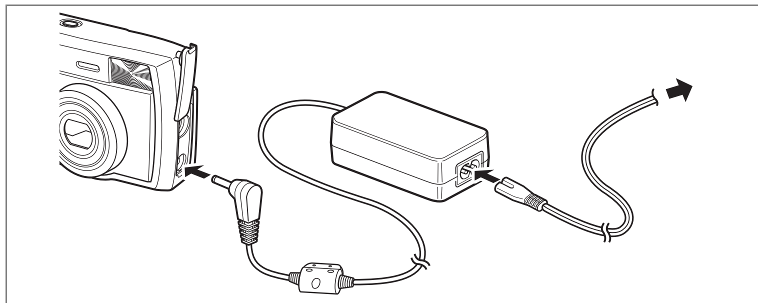
- 使用環境温度が下がると、電池の性能が低下しますので、寒冷地で使用する場合は、予備の電池を用意して、衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお、一旦低下した電池の性能は、常温の環境で元に戻ります。
- 単3アルカリ電池は特性上、カメラの性能を十分に発揮させられない場合がありますので、緊急用として以外は、使用をおすすめしません。
- 海外旅行、寒冷地での撮影や写真をたくさん撮るときは、予備電池をご用意ください。

電池の残量表示

液晶モニタに表示されたで、電池の残量を確認できます。

	（緑点灯）	：	電池がまだ十分に残っています。
↓			
	（黄色点灯）	：	残量が少なくなった状態です。
↓			
	（赤点灯）	：	残量がほとんどありません。
↓			
「電池容量がなくなりました」		：	メッセージの表示後、電源オフとなります。

1 準備



ACアダプタを使用する

液晶モニタを長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプタキットK-AC5J（別売）のご使用をおすすめします。

1　カメラの電源が切れていることを確認してから、端子カバーを開ける

2　ACアダプタのDC端子を、カメラのDC入力端子に接続する

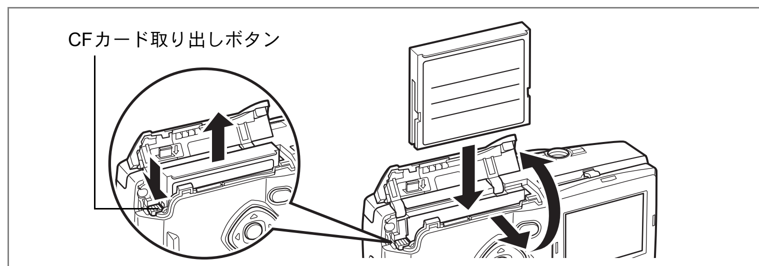
3　ACコードをACアダプタに接続する

4　コンセントに電源プラグを差し込む

注意

- AC アダプタを接続または外すときは、必ずカメラの電源が切れた状態で行なってください。
- カメラやACアダプタ、ACコード端子、コンセントはしっかり差し込んでください。カメラがCFカードにデータを記録、または読み出している間に接続部が外れると、データが破壊されます。
- ACアダプタをご使用になるときはACアダプタキットK-AC5Jの使用説明書をあわせてご覧ください。
- AC アダプタを接続しても、カメラ内の充電池を充電することはできません。

CFカードをセットする/取り出す



撮影した画像は、コンパクトフラッシュ（CF）カードに記録されます。CFカード（市販品）をセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

セットする

1　CFカードカバーを ⤸ の方向にずらして引き上げる

2　CFカードのラベル（▲印のある）面をレンズ側に向け、奥まで押し込む

3　CFカードカバーを閉じる

取り出す

1　CFカードカバーを ⤸ の方向にずらして引き上げる

2　CFカード取り出しボタンを押し、カードを取り出す

3　CFカードカバーを閉じる

注意

- 電源がオンのときに、CFカードカバーを開けると、警告音が鳴り、強制的に電源オフになります。
- 画像を保存中にCFカードカバーを開けると、保存は中断されます（画像は保存されません）。

●記録サイズ/画質と撮影可能枚数の目安

画質 / 記録サイズ	S. ファイン／★★★	ファイン／★★	エコノミー／★	動画（320 × 240）
2048×1536	8	16	33	30 秒× 2 セット
1600×1200	13	27	60	
1024×768	24	50	89	
640×480	50	89	128	

- 表の数値は、16MBのCFカードを使用した場合の枚数です。
- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、撮影モード、使用するCFカードなどにより変わります。

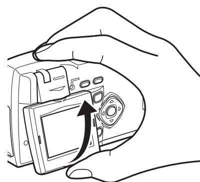
CFカード使用上の注意

- CFカードカバーを開けるときは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- カメラ使用直後にCFカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- CFカードへのデータ記録中や、画像の再生中、またはUSBケーブルでパソコンと接続中には、CFカードカバーを開けたり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
- CF カードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- 未使用または他のカメラで使用したカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「CFカードをフォーマットする」（p.85）をご覧ください。
- CF カードのフォーマット中には絶対に CF カードカバーを開けないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- CFカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  - 使用者がCFカードの取り扱いを誤ったとき
  - CFカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  - 長期間カードを使用しなかったとき
  - CF カードにデータ記録中、またはデータ読み出し中にカードを取り出したり、ACアダプタやバッテリーを抜いたとき
- CFカードには寿命があります。長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や、保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。

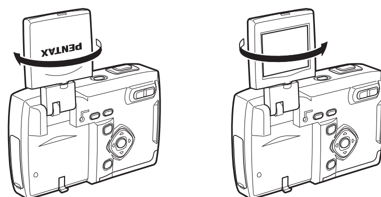
液晶モニタを回転させる（フレキシブル液晶モニタ）

液晶モニタを上下に180°、左右に180°回転させることができます。セルフポートレートを撮影するときなど、画面を確認しながら撮影することができます。液晶モニタが回転すると、画面表示も連動して変わります（鏡像）。

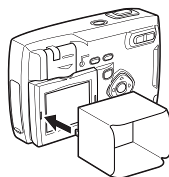
- 液晶モニタを引き上げます。



- 左右一方向に 180° 回転させるとができます。



- 明るい屋外など、液晶モニタが見にくいときは、付属の液晶モニタ用フードを装着します。



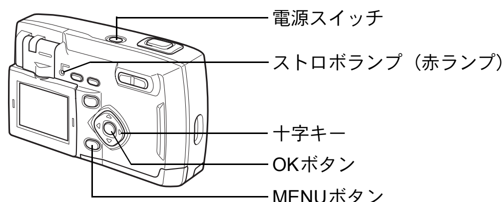


デジタルカメラを使用しないときは、液晶モニタを保護するために、液晶モニタ部を裏面（表面：PENTAXロゴ）に回転させて収納することができます。

注意

- 液晶モニタ用フードの着脱は液晶モニタの回転部に無理な力がかからないよう、収納状態で行ってください。
- 液晶モニタを回転するときは、無理な力を加えないでください。

初期設定をする



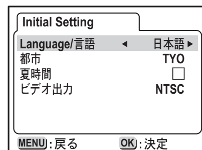
カメラの電源を入れたときに、「Initial Setting」（初期設定）の画面が表示された場合は、下記の手順にしたがって、言語と現在の日時を設定してください。日時設定の画面が表示された場合は、次ページの「日時を設定する」の手順にしたがって現在の日時を設定してください。なお、はじめてカメラの電源を入れたときに、現在の日時と異なる場合は、「日付の表示スタイル・日付/時刻を変更する」（p.86）にしたがって、正しい日時を設定してご使用ください。

言語を設定する

使用する言語を日本語に設定します。

1　十字キー（◀▶）を押して、「日本語」を選ぶ

「日本語」を選んだときにTYO（都市）、□（夏時間）、NTSC（ビデオ出力）が右図のように表示されていたら、手順5に進んでください。



2　十字キー（▼）を押す

青の四角枠が都市に移動します。

3　十字キー（◀▶）を押して、TYO（東京）を表示させる

4　手順3を繰り返して、☑を□（オフ）、PALをNTSCに設定する

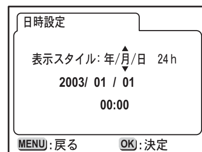
5　OKボタンを押す

日時を設定する画面が表示されます。

日時を設定する

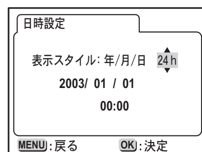
日時の表示スタイルと現在の日付／時刻を設定します。

1 十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する



2 十字キー（▶）を押す

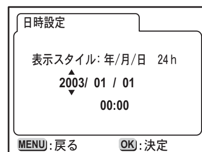
「24h」の上下に▲▼が表示されます。



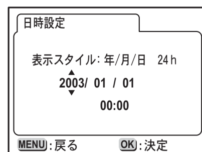
3 十字キー（▲▼）を押して、24h（24時間表示）または12h（12時間表示）を設定する

4 十字キー（▶）を押す

「西暦年」の上下に▲▼が表示されます。

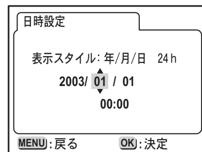


5 十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

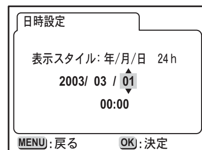


6 十字キー（▶）を押す

「月」の上下に▲▼が表示されます。



7 十字キー（▲▼）で月を設定し、十字キー（▶）を押す



「日」の上下に▲▼が表示されます。

8 手順7を繰り返して、「日」「時」「分」を設定する

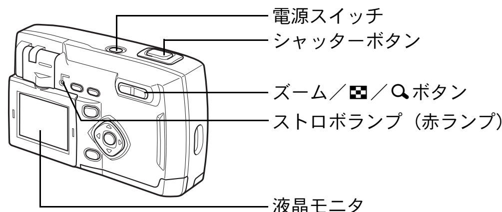
9 設定が終了したら、OKボタンを押す

撮影できる状態になります。メニュー操作で設定した場合はメニュー画面に戻りますので、もう一度OKボタンを押してください。

注意

- 初期設定の途中で MENU ボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。
- ここで設定した内容は、設定後メニュー操作で変更することができます。メニューの呼び出し方は「日付の表示スタイル・日付/時刻を変更する」（p.86）をご覧ください。

静止画を撮影する



簡単に静止画を撮影します。初期設定では、ストロボは明るさに応じて自動的に発光します。

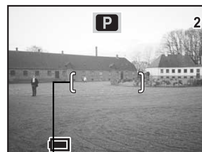
1 電源スイッチを押す

電源がオンになります。

2 液晶モニタを見る

液晶モニタの中央のフォーカスフレームの中が、自動でピントが合う範囲です。ズームボタンを押すと被写体の大きさが変わります。

🌲 被写体が大きく写ります。
🌲🌲🌲 被写体が小さく写ります。



フォーカスフレーム

3 シャッターボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに0.5秒間表示（クイックビュー）されます。撮影した画像はCFカードに保存されます（CFカードに保存中は赤のランプが点滅します）。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

●半押し

シャッターボタンを軽く押すと（半押し)、ピント位置、露出、ホワイトバランスがロックされます。シャッター速度、絞り値は、シャッターボタンを半押ししたときだけ表示されます。液晶モニタやストロボランプは次のような情報を表します。

1.**フォーカスフレーム**

ピントが合うと枠が緑色に点灯します。ピントが合っていないときは表示されません。

2.**ストロボランプ**

	ストロボランプ（赤）
点灯	ストロボ発光表示
点滅	充電中

ストロボ充電中は撮影できません。

●全押し

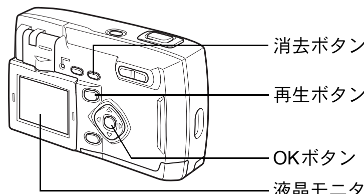
シャッターボタンを下まで押すと（全押し)、撮影されます。

クイックビュー

撮影直後に画像が表示される「クイックビュー」は、初期設定では0.5秒間表示されます。クイックビュー表示中に🗑ボタンを押すと、「消去」メニューが表示されます。「消去」を選び、OKボタンを押すとその画像を消去することができます。

クイックビューの表示時間を設定する ☞p.46

静止画を再生する



画像を再生する

静止画を再生します。

1 撮影後に再生ボタンを押す



撮影した画像が液晶モニタに表示されます。
十字キー（▼）を押すと、画像が90°、180°、270°と回転して表示されます。
縦位置で撮影した画像を見やすく表示することができます。

表示した画像を消去するには

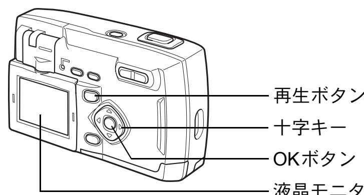


画像表示中に🗑ボタンを押すと、消去画面が表示されます。十字キー（▲）を押して「消去」を選び、OKボタンを押すとこの画像を消去することができます。
もう一度再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、撮影できる状態に戻ります。



- 再生画面に切り替えると「ファイルNo.」の数字の最も大きい画像が最初に表示されます。
- 液晶モニタに表示された画像は、ズーム／⊞／🔍ボタンで拡大して見ることもできます。

拡大して再生する ☞p.74



前後の見たい画像を再生する

静止画を前後に一枚ずつ送って再生します。

1 **撮影後に再生ボタンを押す**

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

2 **十字キー（◀▶）を押す**

◀ 前の画像が表示されます。

▶ 次の画像が表示されます。

画像表示中に 🗑 ボタンを押すと、消去画面が表示されます。
「消去」を選び、OKボタンを押すとこの画像を消去することができます。
もう一度再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、撮影できる状態に戻ります。



- 動画は、1コマ目の画像が表示されます。
- 画像が保存されていないときは、「画像がありません」と表示されます。

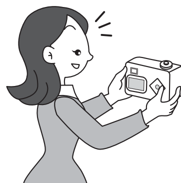
CFカードの活用方法

このカメラで撮影した画像はCFカードに記録されます。CFカードに記録された画像は、カメラ本体で見たり、パソコンに転送したり、プリントしたりできます。



カメラで見る

デジタルカメラの便利なところは、撮ったその場ですぐに画像を確認できること。構図や明るさを確認して、失敗してもまた撮り直しできます。



静止画を再生する☞p.74

テレビで見る

みんなでわいわい見るときは、テレビ再生が便利。ビデオケーブルでカメラをテレビに接続すると、画像をテレビ画面で見ることができます。

テレビで画像を見る☞p.81



パソコンで見る

USBドライバのインストールは最初の1回だけ、後はカメラをUSBケーブルで接続して、画像を読み込ませるだけで、撮った画像をパソコンで見たりパソコンに転送して加工したりできます。また、カメラからCFカードを取り出してカードリーダを使ってデータを転送したり、ノートパソコンの場合は、CFカードをセットしたカードアダプタをカードスロットに挿入して画像データを転送できます（カメラからCFカードを取り出して、他の機器を利用して画像を転送する場合は、お使いになる機器の使用説明書もご覧ください）。

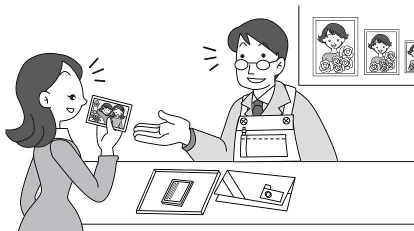
☞別冊「デジタルカメラで撮影した画像をパソコンで表示するには」



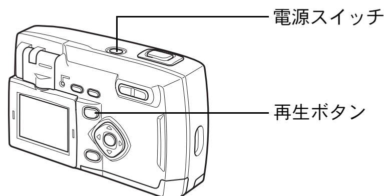
プリントサービスで見る

画像を記録したCFカードをプリント取扱い店に持っていくと、従来の写真と同様にプリント注文できます。
あらかじめDPOF(Digital Print Order Format)の設定をしてからDPOF対応のプリント取扱い店に持っていくと、プリント枚数を指定したり、写真に日付を入れることができます。

プリントサービスの設定をする（DPOF）☞p.82



電源をオン/オフする



1　電源スイッチを押す

電源がオンになります。電源をオンにすると、レンズカバーが開き、レンズが前に出ます。
もう一度電源スイッチを押すと、電源がオフになります。

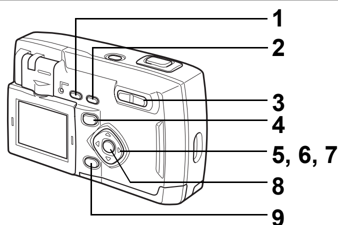
再生専用モード

再生ボタンを押しながら、電源をオンにすると、「再生専用モード」で起動します。

- 「再生専用モード」で起動させると、レンズは閉じたままで前に出てきません。
- 「再生専用モード」から「撮影モード」へ切り替えるには、一旦電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。

静止画を再生する☞p.24

ボタンの機能を使用する



撮影モード時

1　⚡ボタン

ストロボの発光方法を切り替えます。（☞p.38）

2　🌷▲MFボタン

撮影方法を次のように切り替えます。（☞p.36）
　マクロモード（☞p.36）、遠景モード（☞p.36）
　マニュアルフォーカス（☞p.36）

3　ズームボタン

被写体の大きさを変えます。（☞p.68）

4　再生ボタン

再生モードに切り換えます。（☞p.35）

5　十字キー（◀▶）

露出補正をします。（☞p.71）

6　十字キー（▲）

連続撮影、セルフタイマー撮影を選びます。（☞p.66, 67）

7　十字キー（▼）

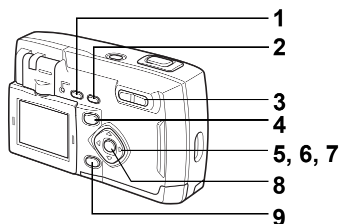
バーチャルモードダイヤルを表示して撮影モードを切り替えます。（☞p.35）

8　OKボタン

メニュー項目を決定します。

9　MENUボタン

「撮影機能」「詳細設定」のメニュー項目を表示します。（☞p.31）



再生モード時

1　O─ボタン
画像を消去できないようにします。(☞p.80)

2　🗑ボタン
画像を消去します。(☞p.78)

3　ズーム／▦／🔍ボタン
「通常再生」時に▦を押すと、一度に9画像を表示します。
「拡大再生」時に液晶モニタに表示される画像の大きさを変えます。(☞p.74)

4　再生／▶ボタン
撮影モードに切り換えます。

5　十字キー（◀▶）
前後の見たい画像を表示します。(☞p.25)

6　十字キー（▲）
DPOFの設定を行います。(☞p.82)

7　十字キー（▼）
再生中の画像を時計回りに90°、180°、270°回転して表示します。(☞p.24)

8　OKボタン
メニュー項目を決定します。

9　MENUボタン
「再生機能」「詳細設定」のメニューを表示します。(☞p.31)

MENUを設定する

MENU ボタンを押すと、液晶モニタにメニューが表示されます。メニューを使用して、機能の設定や設定した内容をメモリ（保存）したり、カメラの設定を変更することができます。

メニューの操作方法

メニュー操作中は、液晶モニタにガイドが表示されます。

1　MENUボタンを押す

メニュー画面が表示されます。選択されている部分は四角の枠で表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

十字キー（◀▶）でメニュー画面が切り替わります。

3　十字キー（▲▼）で項目を選択する

十字キー（▲▼）で選択枠が上下に移動します。

**4　十字キー（◀▶）で設定を切り替える
または選択画面があるときは、十字キー（▶）で選択画面に移行する**

設定が終了したら、OKボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

5　OKボタンを押す

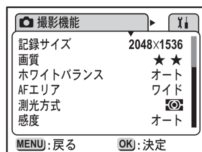
設定が保存され、撮影または再生できる状態に戻ります。

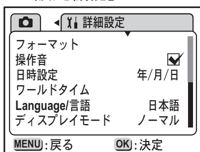
注意　OKボタンを押してメニュー画面を閉じても、電源をオンにしたまま電池を取り出したりするなど誤った操作で電源をオフすると設定は保存されません。

操作の一例（撮影モードでMENUボタンを押した場合）

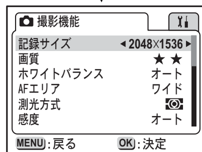
1 MENUボタン

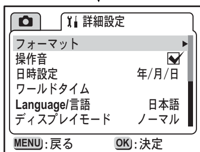
「撮影機能」メニュー　　「設定機能」メニュー





2

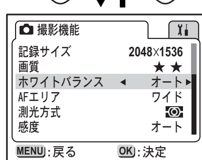


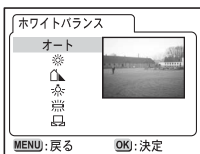


3

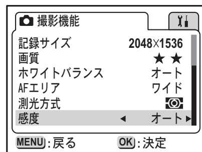
4

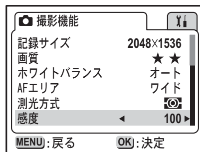
選択画面





3





3

次のメニュー画面



メニュー表示中にシャッターボタンを半押しするか、またはズームボタンを押すと設定を保存して、撮影モード（再生専用モードの場合は再生画面）に切り替わります。

メニュー一覧

「撮影機能」メニュー

○…設定の変更が可能です
×…設定の変更は無効です

項目	内容	初期値	ピクチャーモード		参照
記録サイズ	画像の画素数が選べます	2048×1536	○	320×240に設定	p.39
画質	画像の圧縮率が選べます	★★	○	×	p.40
ホワイトバランス	撮影時の光の状態に合わせて色を調整します	オート	○	○	p.41
AFエリア	オートフォーカスの対象になる範囲を変更します	ワイド	○	×	p.43
測光方式	露出を決定する測光方式を設定します	（分割）	○	×	p.44
感度	感度を設定します	オート	○	×	p.45
デジタルズーム	デジタルズーム撮影ができます	（オン）	○	×	p.69
クイックビュー	クイックビューの表示時間を設定します	0.5s（0.5秒）	○	○	p.46
ソフト量	ピクチャーモードのソフトモードのソフト量を設定します。	4段目	○	×	p.52
露出ブラケット量	露出オートブラケットのブラケット量を設定します。	±0.3EV	○	×	p.65
WBブラケット量	ホワイトバランスオートブラケットのブラケット量を設定します。	±1	○	×	p.65
3Dモード	3D写真の鑑賞方法を設定します	平行法	○	×	p.58
モードメモリ	電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリします		○	×	p.72
シャープネス	シャープネスを設定します	標準	○	×	p.47
彩度	彩度を設定します	標準	○	×	p.48
コントラスト	コントラストを設定します	標準	○	×	p.49



「×」の項目は、メニュー画面上では設定を変更できますが、作動には反映されません。

3 機能共通操作

「▶再生機能」メニュー

項目	内容	初期値	参照
スライドショウ	保存された画像を連続して再生します	3s（3秒間隔）	p.77

「詳細設定」メニュー

項目	内容	初期値	参照
フォーマット	CFカードをフォーマットします	キャンセル	p.85
操作音	ボタン操作音を設定します	☑（オン）	p.87
日時設定	日付/時刻を設定します	2003/01/01	p.86
ワールドタイム	ワールドタイムを設定します	□（オフ）	p.88
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を切り替えます	日本語	p.86
ディスプレイモード	撮影モードおよび再生モードの表示モードを切り替えます。	ノーマル	p.90
画面効果	液晶画面の表示を流れるように表示させます	☑（オン）	p.92
ビデオ出力	ビデオ出力方式を設定します	NTSC	p.87
背景色	液晶画面の背景を設定します。	青	p.92
オートパワーオフ	節電機能を設定します	3m（3分）	p.93
LCDの明るさ	液晶モニタの明るさを設定します	標準	p.93
リセット	設定を初期値に戻します	キャンセル	p.93

撮影のための機能を設定する

モードを切り替える

撮影ができる状態を撮影モード、再生や消去ができる状態を再生モードといいます。

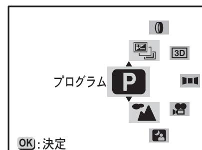
撮影モードと再生モードを切り替える

- 撮影モードから再生モードへは、再生ボタンを押して切り替えます。
- 再生モードから撮影モードへは、再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しして切り替えます。

撮影モードを選ぶ

撮影モードはバーチャルモードダイヤルを表示して選択します。8種類の撮影モードがあります。

P	標準モード	すべての機能を設定して撮影できます。	p.50
（初期値）	ピクチャーモード	撮影するシーンにあわせた設定で撮影します。8種類のピクチャーモードが用意されています（初期値はです）。	p.51
	夜景モード	夜景など暗いシーンを撮影します。	p.53
	動画モード	動画を撮影します。	p.54
	パノラマアシストモード	パノラマを設定して撮影します。	p.56
3D	3D 撮影モード	3D 画像を撮影します。	p.58
	デジタルフィルターモード	カラーフィルタを設定して撮影します（初期値は白黒です）。	p.63
（初期値）	オートブラケットモード	オートブラケット撮影を行います（初期値はです）。	p.64



1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

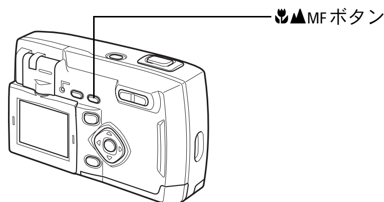
バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2　十字キー（▲▼）で設定したいモードを選ぶ

絵記号が拡大表示されます。
「ピクチャーモード」「デジタルフィルターモード」「オートブラケットモード」の場合は、さらに十字キー（▶）を押して詳細を設定します。

3　OKボタンを押す

選んだ撮影モードのアイコンが表示され、撮影できる状態に戻ります。



フォーカスの設定を変える

フォーカスモード

（表示なし）	オートフォーカスモード	シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。被写体までの距離が40cm以上のときに使用します。
🌷	マクロモード	被写体までの距離が約10cm〜50cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AF エリアにあるものにピントを合わせます。
▲	遠景モード	遠くにあるものを撮影するときに使用します。
MF	マニュアルフォーカスモード	手動でピントを合わせます。

1　撮影モードで🌷▲MF押すたびにフォーカスモードが切り替わり、設定値が液晶モニタに表示されます。

設定したフォーカスモードで撮影できます。



- フォーカスモードの初期値は「オートフォーカスモード」です。
- 動画モード（☞p.54）では「オートフォーカスモード」のみになります。
- ピクチャーモード（☞p.51）、パノラマアシストモード（☞p.56）、3D撮影モード（☞p.58）では「マニュアルフォーカスモード」の設定はできません。

マニュアルでフォーカスを設定する

MF 時は、十字キー（◀▶）を押すと画面中央部が液晶モニタいっぱいに拡大表示されます。
表示されたモニタ画像を見ながら、十字キーでピントをあわせます。

 遠くにピントが合います。

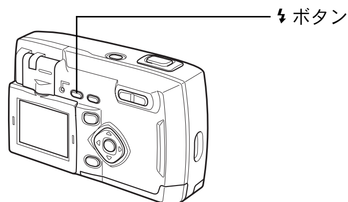
 近くにピントが合います。

フォーカス位置が決まったら、十字キー（◀▶）以外のボタンを押すか、または十字キーから指を離して約2秒たつと、通常の撮影画面に切り替わります。



- 設定しているときに、十字キー（◀▶）を押し続けると、速くピント合わせができます。
- デジタルズームで最大倍率付近では拡大表示されません。

フォーカスモードを保存する☞p.72



ストロボの発光方法を選択する

（表示なし）	オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光します。
⊛	発光禁止	明るさにかかわらず常にストロボは発光しません。
ϟ	強制発光	明るさにかかわらず常にストロボを発光します。
◉A	オート＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。自動的にストロボを発光します。
◉ϟ	強制発光＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。 常にストロボを発光します。



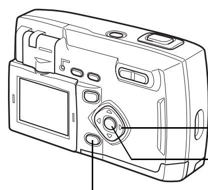
- 撮影モードが 🎥 にセットされているか、連続撮影、または遠景モードに設定されているときは、常に発光禁止になります。
- ストロボ撮影時には、測光のための補助光として撮影前に必ずストロボを一度発光させます。
- 「オート＋赤目軽減」または「強制発光＋赤目軽減」では、撮影の前に、瞳を小さくさせるためにストロボを一度発光させ、少し間をおいてからストロボ撮影をします。

1 撮影モードで ϟ ボタンを押す

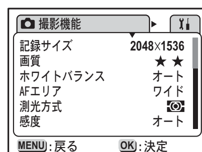
押すたびに発光方法が切り替わり、マークが液晶モニタに表示されます。
設定したストロボ発光方法で撮影ができる状態になります。

ストロボランプの状態☞p.23
ストロボ発光方法を保存する☞p.72

4 撮影







P ピクチャーモード

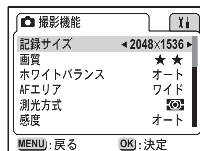
記録サイズを選択する

画像の記録画素数を「2048×1536」「1600×1200」「1024×768」「640×480」から選べます。
画素数が多くなるほど、画像が大きくなり容量も増えます。
また、画像の容量は設定している画質によっても異なります。

2048×1536	A4サイズでの印刷などに適しています。
1600×1200	A5サイズでの印刷などに適しています。
1024×768	はがきサイズでの印刷などに適しています。
640×480	電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

1 「撮影機能」メニューの「記録サイズ」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で記録サイズを切り替える



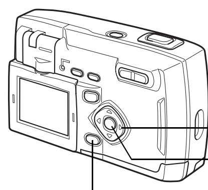
3 OKボタンを押す

撮影ができる状態になります。

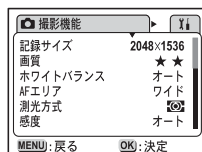


- 「動画モード」では「320×240」に固定されます。
- 記録サイズを大きくすると、プリントしたときに、より鮮明な画像が得られます。

4 撮影







P ピクチャーモード

画質を選択する

4 撮影

画像の圧縮率が選べます。
★の数が多いほど、画質はきれいになり容量も増えます。
また、画像の容量は、設定している記録サイズによっても異なります。

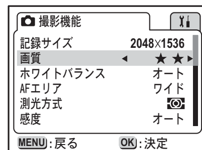
★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、A4サイズなど大きな写真のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、写真のプリントおよびパソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

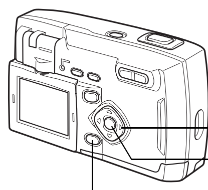
1 「撮影機能」メニューの「画質」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で画質を切り替える

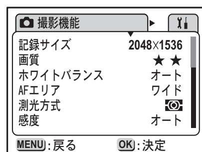
3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。









P ピクチャーモード

ホワイトバランスを調整する

撮影時の光の状態に応じて画像を自然な色あいに調整できます。

オート	オート	調整をカメラにまかせます。
☼	太陽光	太陽の下で撮影するときに設定します。
⌂	日陰	日陰で撮影するときに設定します。
☀	白熱灯	電球など白熱灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
𝌆	蛍光灯	蛍光灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
𝌁	マニュアル	手動で調整して撮影するときに設定します。

1 「撮影機能」メニューの「ホワイトバランス」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ホワイトバランス選択画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で設定を切り替える。

4 OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。



ホワイトバランスを保存する☞p.72

マニュアルで設定する



1 **ホワイトバランス選択画面で（マニュアル）を選ぶ**

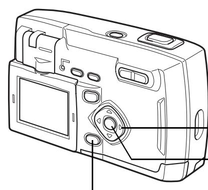
2 **白い紙等を画面いっぱいに入れる**

3 **OKボタンを押す**

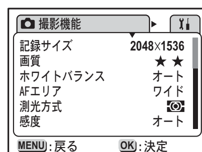
液晶モニタに「調整中」と表示され、ホワイトバランスが自動調整されると、メニュー画面に戻ります。

4 **OKボタンを押す**

撮影できる状態に戻ります。







ピクチャーモード

オートフォーカス範囲を設定する

オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）を変更できます。

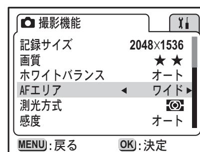
ワイド	通常範囲
スポット	フォーカスが合う範囲を狭くします。

1 「撮影機能」メニューの「AFエリア」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で AF エリアを切り替える

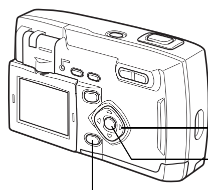
3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



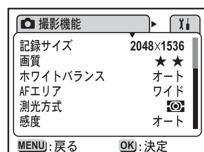
AFエリアの設定を保存する☞p.72

4 撮影



十字キー
OKボタン
MENUボタン





ピクチャーモード

測光範囲を設定する

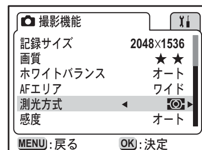
4 撮影

画面のどの部分で明るさを測り、露出を決定するのかを設定します。

	分割	画面全体をきめ細かく測光して露出を決定します。
	中央部重点	画面中央を重点的に測光して露出を決定します。
	スポット	画面の中央のみを測光して露出を決定します。

1　「撮影機能」メニューの「測光方式」を選ぶ

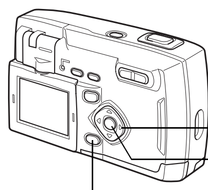
2　十字キー（◀▶）で測光方式を切り替える



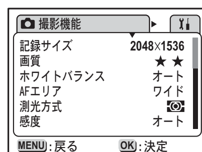
3　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

測光方式を保存する☞p.72







Ⓟ ピクチャーモード

感度を設定する

撮影する場所の明るさに応じて、感度を設定することができます。

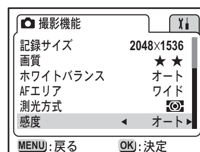
オート	設定をカメラにまかせます。
100	• 感度が低い（数字が小さい）ほど、ノイズの少ないシャープな画像が得られます。暗い場所ではシャッター速度が遅くなります。 • 感度が高い（数字が大きい）ほど、暗い場所でもシャッター速度を速くできます。画像にはノイズが増えます。
200	
400	

1 「撮影機能」メニューの「感度」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で感度を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

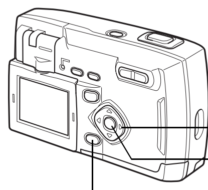




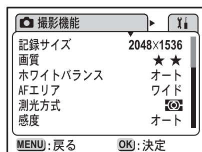
オートで設定される感度は100と200のみになります。

感度設定を保存する☞p.72

4 撮影







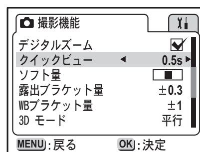
P ピクチャーモード

クイックビューの時間を設定する

クイックビューの表示時間を0.5s（0.5秒）、1s（1秒）、2s（2秒）、3s（3秒）、5s（5 秒）、OFF（表示しない）から選べます。

1 「撮影機能」メニューの「クイックビュー」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で表示時間を切り替える



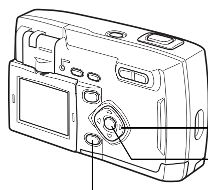
3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

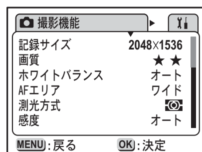


クイックビューの設定は、電源をオフにしても保持されます。

4 撮影







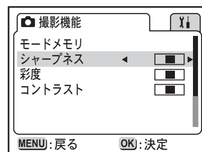
P ピクチャーモード

シャープネスを設定する

画像の輪郭をシャープまたはソフトにします。

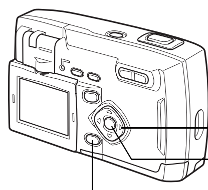
1 「撮影機能」メニューの「シャープネス」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で （標準）、 （ハード）、 （ソフト）を切り替える



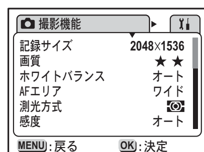
3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



十字キー
OKボタン
MENUボタン





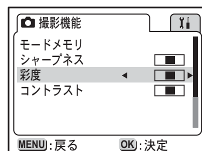
P ピクチャーモード

彩度を設定する

色の鮮やかさを設定します。

1 「撮影機能」メニューの「彩度」を選ぶ

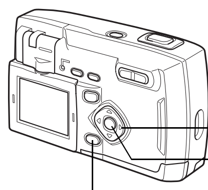
2 十字キー（◀▶）で（標準）、（強）、（弱）を切り替える



3 OKボタンを押す

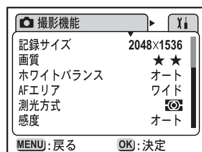
撮影できる状態になります。

4
撮影



十字キー
OKボタン
MENUボタン





P ピクチャーモード

コントラストを設定する

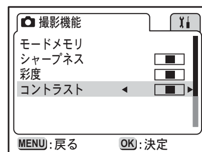
画像の明暗差を設定します。

1 「撮影機能」メニューの「コントラスト」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で （標準）、 （強）、 （弱）を切り替える

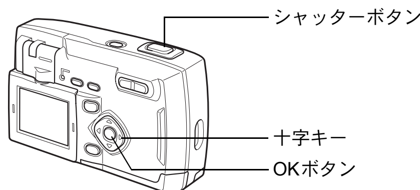
3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



4

撮影



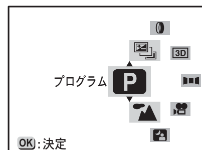
機能を設定して撮影する（プログラムモード）

プログラムモード（P）では、すべての機能を設定して撮影できます。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2 十字キー（▲▼）でプログラムモード（P）を選ぶ



3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

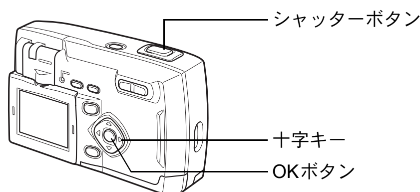
4 使用する機能を設定する

機能の設定のしかたは、「撮影のための機能を設定する」（p.35～p.49）をご覧ください。

5 シャッターボタンを押す

撮影されます。

静止画を撮影する☞p.22



シーンにあわせた撮影をする（ピクチャーモード）

撮りたいシーンにあわせた設定で撮影します。

ピクチャーモードについて

ピクチャーモードには、以下の8つのモードがあります。

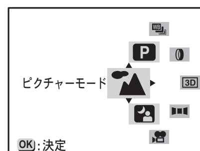
（風景アイコン）	風景（初期値）	風景写真をきれいに仕上げます。
（花アイコン）	花	花の写真をきれいに仕上げます。
（ポートレートアイコン）	ポートレート	人物をきれいに仕上げます。
（セルフポートレートアイコン）	セルフポートレート	自分撮りやツーショット写真をきれいに仕上げます。
SOFT	ソフト	人物などをソフトな調子で仕上げます。 ソフト量は7段階で設定できます。
（サーフ&スノーアイコン）	サーフ＆スノー	砂浜や雪山などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。
（夕景アイコン）	夕景	夕焼けや朝焼けの写真を美しく描写します。
（イラストアイコン）	イラスト	イラスト風に写真を仕上げます。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

バーチャルモードダイヤルが表示されます。

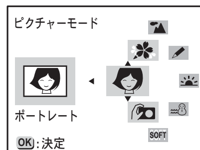
2　十字キー（▲▼）でピクチャーモード（風景アイコン）ダイヤルを選び、十字キー（▶）を押す

ピクチャーモードダイヤルが表示されます。



4 撮影

3　十字キー（▲▼）で設定したいピクチャーモードの絵記号を選ぶ



4　OKボタンを押す

ピクチャーモードが選択されます。

5　シャッターボタンを押す

撮影されます。



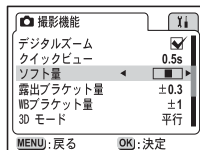
- ピクチャーモードでは、シャッターボタンを半押しする、あるいは十字キー以外のボタンを押す、または5秒以上そのままの状態で何も操作しないことでも決定します。
- ピクチャーモードでは、露出補正、彩度、コントラスト、シャープネス、ホワイトバランスが自動的に各モードの最適な値に設定されます（設定値は変更することができます）。

ソフト量を設定する

ピクチャーモードの「ソフト」のソフト量を設定します。

1　「撮影機能」メニューの「ソフト量」を選ぶ

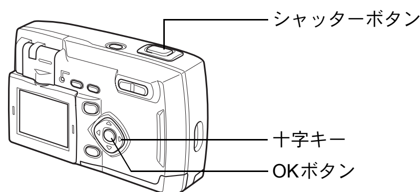
2　十字キー（◀▶）でソフトの強さを設定する



が右方向に移動するとソフト効果が大きくなります。左方向に移動するとソフト効果が小さくなります。

3　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



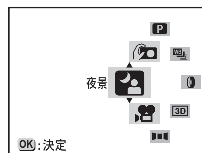
暗いシーンを撮影する（夜景モード）

夜景など暗いシーンを撮影するのに適切な設定にセットされます。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2　十字キー（▲▼）で、夜景モード（）を選ぶ



3　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

4　シャッターボタンを押す

撮影されます。

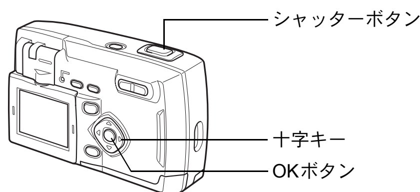
シャッターボタンの押しかた☞p.23
静止画を再生する☞p.24



夜景など遅いシャッター速度での撮影では、撮影後に画像からノイズを取り除く機能が働くため、撮影時間が約2倍かかります。



暗いシーンでの撮影ではシャッター速度が遅くなりますので、手ぶれしないよう、カメラを三脚等に固定して撮影してください。



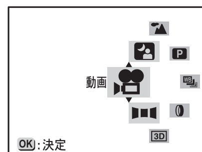
動画を撮影する（動画モード）

動画を撮影します。一度に撮影できる時間（1セット）は、最長約30秒間です。なお、音声の記録はできません。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

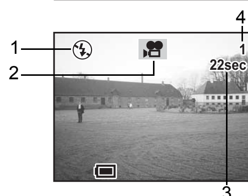
バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2　十字キー（▲▼）で動画モード（🎥）を選ぶ



3　OKボタンを押す

1 発光禁止マーク
2 動画モードアイコン
3 次のセットでの撮影可能時間
4 残りセット数



4　シャッターボタンを押す

撮影が開始されます。ズームボタンで画像の大きさを切り替えることができます。

🌲　被写体が大きく写ります。
🌲🌲🌲　被写体が小さく写ります。

5　シャッターボタンを押す

撮影が終了します。残り撮影可能時間が表示されます。

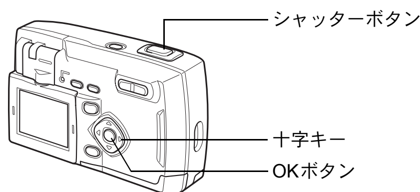
シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている時間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。

動画を再生する☞p.75

注意

- 動画モードでは、ストロボは発光しません。
- 動画モードでは、連続撮影はできません。
- 動画モードで設定できるフォーカスモードは、「オートフォーカスモード」のみです。



パノラマ撮影をする（パノラマアシストモード）

何枚かの画像をつなぎ合わせて、1枚の写真を撮影します。
パノラマ合成には付属のソフトウエアとWindowsパソコンを使用します。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2　十字キー（▲▼）でパノラマアシスト（▮■▮）を選ぶ

3　OKボタンを押す

4　十字キーでつなげる方向を選ぶ



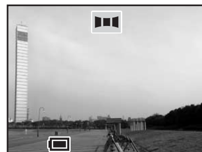
◀ 画像を左につなぎます。
▶ 画像を右につなぎます。
▲ 画像を上につなぎます。
▼ 画像を下につなぎます。
ここでは▶を選んだ場合について説明します。

5　1枚目の画像を撮影する



シャッターボタンを押すと1枚目の画像が撮影され、1枚目の画像の右端が液晶モニタの左端に透過表示されます。

6 カメラを右に移動し2枚目の画像を撮影する



3枚目以降の画像も同様にして撮影します。

7 OKボタンを押す

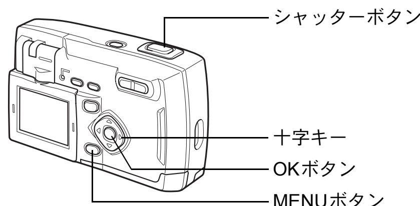
手順4の画面にもどります。



パノラマ撮影を中止するには、パノラマアシストモード以外のモードに切り替えてください。

注意

- パノラマ合成はカメラ本体ではできません。付属のソフトウェアを使用します。パノラマ合成については、別冊の「デジタルカメラで撮影した画像をパソコンで表示するには」を参照してください。
- パノラマアシストモードでは、連続撮影はできません。
- パノラマ合成には Windows パソコンが必要です（付属のソフトはMacintoshに対応していません）。



3D写真を撮影する（3D撮影モード）

平行法/交差法 (p.60) で見る3D写真を液晶モニタを使って撮影します。プリントした3D 写真を、付属の3Dイメージビュワーで見ると立体的に見えます。

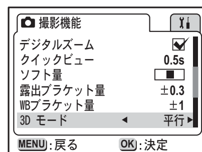
立体視法を選ぶ

初期設定では「平行」が選択されています。「交差」に切り換える必要がなければ、手順5に進んでください。

1　MENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます

2　十字キー（▲▼）を押して「3Dモード」を選ぶ



3　十字キー（◀▶）で「交差」を選ぶ

3Dイメージビュワーで見るときは、平行を選択してください。
裸眼で楽しむこともできます。

4　OKボタンを押す

3D撮影を行う画面に戻ります

撮影する

5　撮影モードで十字キー（▼）を押す

バーチャルモードダイヤルが表示されます。

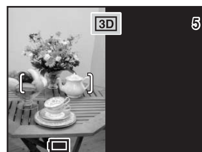
6　十字キー（▲▼）で、3D撮影モード（3D）を選ぶ

4 撮影

7 OKボタンを押す

液晶モニタの左側に1枚目の画像を撮影するための画面が表示されます。

8 1枚目の画像を撮影する



被写体が左側画面の中央に入るようにしてシャッターボタンを押します。液晶モニタの左側に撮った画像が表示され、右側に2枚目の画像を撮影するための画面が表示されます。

9 撮影姿勢を変えずに右に移動する

10 画像を重ねる



画面の右側に1枚目の画像が半透明の状態で重なって表示されます。半透明の画像を実画像に重ね合わせるようにして、構図を合わせます。

11 シャッターボタンを押す

2枚目の画像が撮影され、手順7の表示に戻ります。続けて3D撮影をする場合は手順8から操作してください。



- 撮影した画像は再生モードで確認してください。
- 3D撮影を中止する場合は、3D撮影モード以外のモードに切り替えてください。
- 1つの被写体を2回撮影するので、動くものを撮影しても立体画像は撮影できません。人物を撮影するときは、動かないように声をかけ、すばやく2枚目の撮影を行いましょう。三脚や適当な台を利用すれば、容易に右に水平移動できます。
- カメラの移動量は被写体までの距離の1/40程度が目安です。
  たとえば、被写体までの距離が3mあれば、移動量は3m÷40=7.5cmとなります。立体感の見え方には個人差がありますので、あまり難しく考えず、下記の表を参考にしていろいろ移動距離を変えて撮影してみましょう。

被写体までの距離	0.1m	0.3m	0.5m	1m	3m	5m
カメラの移動距離	0.5cm	1cm	1.5cm	2.5cm	7.5cm	13cm

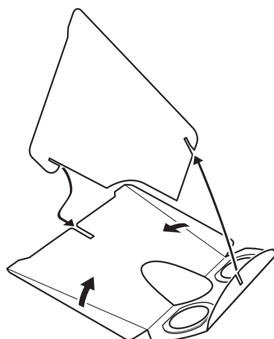
平行法と交差法による3D写真

人間の目は左右に約6～7cm離れているため、左右それぞれの目には微妙に角度のズレた景色が写っています。この左右の見え方を脳が処理することにより、立体的に見え、この原理を応用した撮影方法および写真の観察方法が3D写真です。

3D写真を観察する方法としては、左右の視線をほぼ平行にして（遠くを見るように）見る「平行法」と、左右の視線を交差させて見る「交差法」があります。なお、ビュワーを使わずに3D写真を観察するためには多少の練習が必要になる場合があります。

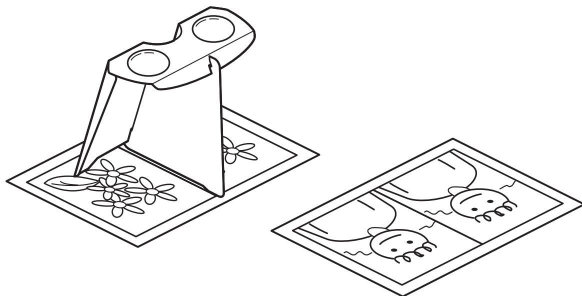
3Dイメージビュワーの組み立て方

付属の3Dイメージビュワーは、次のように組み立ててお使いください。



3Dイメージビュワーを使った3D写真の観察方法

横幅が11cmから12cm程度になるようにプリントし、2枚の画像の中心に3Dイメージビュワーの仕切りを合わせて3D写真を観察します。





人間の左右の目の間隔には個人差があるため、同じ大きさのプリントを見ても立体視が困難な場合があります。特にプリントサイズが大きすぎたり、小さすぎたりすると立体視は非常に困難になります。何度かプリントを試してみて、立体視しやすい大きさを見つけてください。

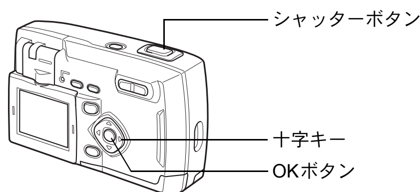


- 3Dイメージビュワーで絶対に太陽はのぞかないでください。
- 3Dイメージビュワーを直接日光の当たる場所に放置しないでください。火災の原因となる恐れがあります。

3D写真の参考例







フィルターを設定して撮影する（デジタルフィルターモード）

デジタルフィルターでは、赤、青、緑などさまざまな色をした色フィルターを使用して撮影をすることができます。

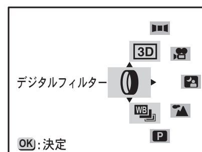
フィルターについて

フィルターには、白黒、セピア、赤色、緑色、青色、白黒＋赤、白黒＋緑、白黒＋青の8種類のフィルターがあります。デジタルフィルターモードを選択すると、液晶モニタにはそれぞれの色フィルターの色味がかった画像が表示され、その色で画像が表示されます。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

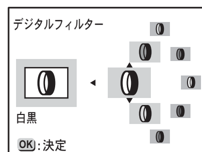
バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2 十字キー（▲▼）で、デジタルフィルターモード（ ）を選ぶ



3 十字キー（▶）を押す

フィルターを選ぶ画面が表示されます。



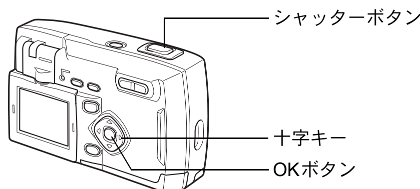
4 十字キー（▲▼）で使用するフィルターを選ぶ

5 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

6 シャッターボタンを押す

撮影されます。



撮影条件を自動で変えて撮影する（オートブラケットモード）

露出、ホワイトバランス、彩度、シャープネス、コントラストの設定条件を変えた写真を自動的に3枚連続で撮影します。露出またはホワイトバランスの場合は、あらかじめブラケット量を設定しておきます。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

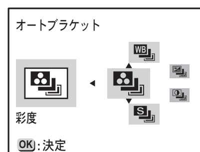
バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押してオートブラケットモード（）を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

ブラケットの種類を選ぶ画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）でブラケットの種類を選ぶ



5　OKボタンを押す

ブラケット撮影モードになります。

6　シャッターボタンを押す

ブラケット撮影が行われます。

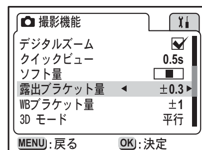


- 撮影した画像は、再生モードで確認してください。
- 連続撮影設定時に、オートブラケットを設定すると、連続撮影は解除されます。
- オートブラケット撮影を終了するには、オートブラケット以外のモードに切り替えてください。

静止画を再生する☞p.24

露出ブラケットモードのブラケット量を設定する

オートブラケットモードで「露出」を選んで撮影するときのブラケット量を設定します。±0.3、±0.7、±1.0、±1.3、±1.7、±2.0から選択します。



1 「撮影機能」メニューの「露出ブラケット量」を選ぶ

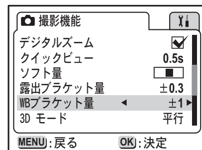
2 十字キー（◀▶）でステップを設定する

3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。
標準とステップ分プラス側およびマイナス側の3 枚の画像が撮影されます。

ホワイトバランスブラケットモードのブラケット量を設定する

オートブラケットモードで「ホワイトバランス」を選んで撮影するときのブラケット量を設定します。±1、±2、±3、±4、±5から選択します。

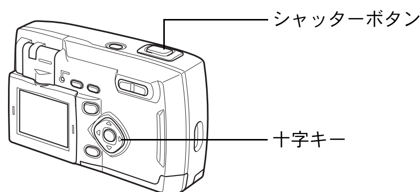


1 「撮影機能」メニューの「WBブラケット量」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）でステップを設定する

3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。
標準とステップ分プラス側およびマイナス側の3 枚の画像が撮影されます。



Pピクチャーモード

連続して撮影する（連続撮影／高速連写）

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。
連続撮影と高速撮影の2種類があります。

連続撮影アイコン	連続撮影	撮影・画像処理・保存を行いながら撮影します。
高速撮影アイコン	高速撮影	3コマ連続して撮影を行い、後で画像処理と保存を行います。

1　撮影モードで十字キー（▲）を押して液晶モニタに連続撮影アイコンまたは高速撮影アイコンを表示させる

2　シャッターボタンを押す

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。
シャッターボタンを離すと、撮影が終了します。



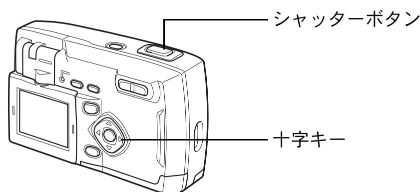
静止画を再生する☞p.24



- CFカードの容量がいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- 連続撮影の間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。

注意

- 連続撮影では、ストロボは発光しません。
- 3D 撮影モード、動画モード、パノラマアシストモード、オートブラケットモードでは、連続撮影・高速連写を利用できません。
- 夜景モード、デジタルフィルタの白黒＋赤・白黒＋緑・白黒＋青では、高速連写を利用できません。



P ピクチャーモード

セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから、10秒後または2秒後に撮影します。



1 撮影モードで十字キー（▲）を押して、液晶モニタに⏲または⏲2sを表示させる

2 シャッターボタンを押す

⏲ セルフタイマーが起動し、セルフタイマーランプが約7秒間点灯します。セルフタイマーランプが点滅をはじめてから約3秒後に撮影されます。

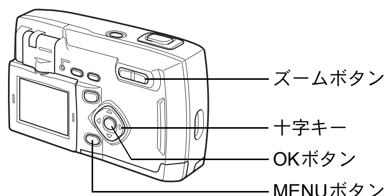
⏲2s セルフタイマーが起動し、セルフタイマーランプが点滅をはじめてから約2秒後に撮影されます。



カウントダウン表示中に十字キーやMENUボタンなどのボタンを押すと、セルフタイマーは解除されます。

静止画を再生する☞p.24
セルフポートレートを撮影する☞p.70

4 撮影

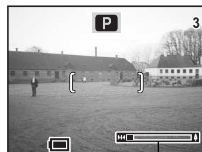


P ピクチャーモード

ズームを使って撮影する

ズームを使って撮影する範囲の望遠／広角撮影ができます。

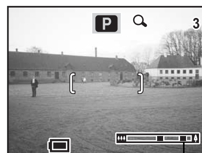
1 撮影モードでズームボタンを押す



ズームバー

望遠：被写体が大きく写ります。
広角：被写体が小さく写ります。

デジタルズーム機能がオフのときは、3倍までの光学ズーム撮影となります。
デジタルズーム機能がオンのときは、被写体をさらに最大8倍相当まで拡大して撮影できます。



デジタルズーム領域

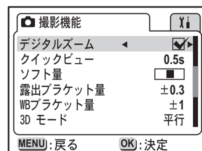
設定したズーム位置を保存する☞p.72

デジタルズーム機能をオンにする

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「📷撮影設定」メニューが表示されます。

2　十字キー（▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ

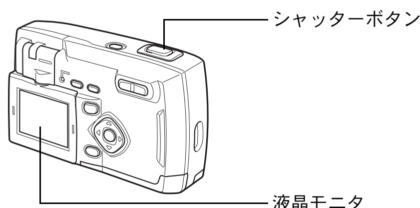


3　十字キー（▶）押して☑（オン）を選ぶ

4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

デジタルズーム機能のオン/オフを保存する☞p.72



セルフポートレートで撮影する

セルフポートレートやツーショットでの撮影をするときに、液晶モニタを反転させ、液晶モニタに映る自分自身を確認しながら撮影できます。

1 バーチャルモードダイヤルでピクチャーモードを選び、セルフポートレート（）を設定する

2 液晶モニタを回転させる

液晶モニタに映っている自分自身が確認できます。
液晶モニタを回転させると、液晶モニタの画像も回転します（鏡像）。

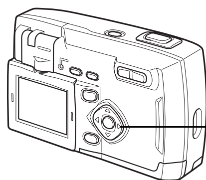
3 シャッターボタンを押す

撮影されます。



暗い所での撮影などシャッターボタンを押したときに手ぶれが起きる場合は、三脚等に固定してセルフタイマーをご利用ください。

液晶モニタを回転させる☞p.17
シーンにあわせた撮影をする（ピクチャーモード）☞p.51



P ピクチャーモード

露出を補正する

意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影するときに露出補正をします。

1　撮影モードで十字キー（◀▶）を押す

明るくする場合は＋側を、暗くする場合は－側を設定します。

設定した値が液晶モニタに表示されます。





一度だけ十字キー（◀▶）を押した場合や±0に設定した場合は、2秒で表示が消えます。

露出補正値を保存する☞p.72

設定を保存する

メニュー項目を保存する（モードメモリ）

電源をオフにしたときに、撮影のために設定した値をメモリ（保存）するかどうかを選びます。「オン」を選ぶと、電源オフ直前の設定状態をメモリします。「オフ」を選ぶと、電源をオフにしたときに初期値に戻ります。

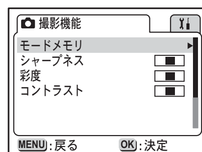
項目	内容	初期値
ストロボ	ボタンで設定したストロボモードを保存します。	☑
露出補正	設定した露出補正値を保存します。	□
ホワイトバランス	「撮影機能」メニューの「ホワイトバランス」での設定を保存します。	□
AFエリア	「撮影機能」メニューの「AFエリア」での設定を保存します。	□
測光方式	「撮影機能」メニューの「測光方式」で設定した測光方式を保存します。	□
感度	「撮影機能」メニューの「感度」で設定した値を保存します。	□
デジタルズーム	「撮影機能」メニューの「デジタルズーム」での設定を保存します。	☑
フォーカス方式	設定したフォーカスモードを保存します。	□
ズーム位置	設定したズーム位置を保存します。	□
ディスプレイモード	液晶モニタの表示モードを保存します。	□
ファイルNo.	ファイル番号を保存します。CFカードを入れ替えた場合でも連番でファイル名を作成します。	☑



- 「モードメモリ」に含まれないメニュー項目は、電源をオフにした後も、各機能のメニュー画面で設定された値が保持されます。
- デジタルズーム領域で設定したズーム位置は、「モードメモリ」の「ズーム位置」をオンにしても保存されません。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

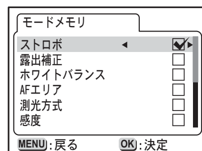
2　十字キー（▲▼）を押して「モードメモリ」を選ぶ



3　十字キー（▶）を押す

「モードメモリ」メニューが表示されます。

4　十字キー（▲▼）で「項目」を選ぶ

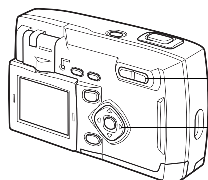


5　十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

6　OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

画像を再生する



静止画を再生する

操作方法は「画像を再生する」(p.24)、「前後の見たい画像を再生する」(p.25)をご覧ください。

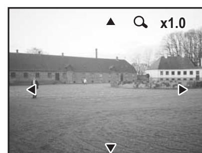
拡大して再生する

再生する画像を12倍まで拡大表示できます。拡大中は液晶モニタにガイドが表示されます。

1 再生モードに入り、十字キー(◀▶)で拡大表示したい画像を選ぶ

2 ズーム/⊞/🔍ボタンの♠/🔍を押す

画面が大きく(1倍～12倍)表示されます。押し続けると、連続的に大きさが変わります。

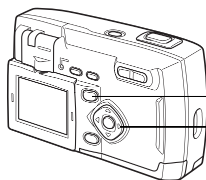


- **拡大表示中にできる操作**
  十字キー(▲▼◀▶)　拡大位置を移動する
  ズーム/⊞/🔍ボタン(♠)　画像を大きくする
  ズーム/⊞/🔍ボタン(♠♠♠)　画像を小さくする

3 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

注意　動画は拡大表示できません。



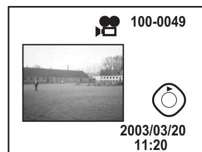
動画を再生する

動画を再生します。再生中は液晶モニタに操作ガイドが表示されます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2　十字キー（▲）を押す

再生が開始します。



- **再生中にできる操作**

十字キー（◀）	逆方向に再生する
十字キー（▶）	順方向に再生する
十字キー（▲）	一時停止する

- **一時停止中にできる操作**

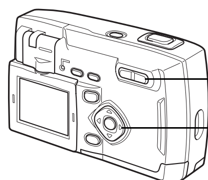
十字キー（◀）	コマ戻しする
十字キー（▶）	コマ送りする
十字キー（▲）	一時停止を解除する（再生する）

3　十字キー（▼）を押す

再生が停止します。

4　再生ボタンを押す

撮影モードに切り替わります。



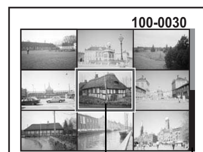
9画像ずつ表示する

撮った画像を一つの画面に9枚まで同時に表示できます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で画像を選ぶ

2　ズーム/⊞/🔍ボタンの⫶/⊞を押す

画像が小さなコマで一度に9コマまで表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で画像が選べます。
10枚以上の画像が記録されていると、画面右端にスクーロルバーが表示されます。最下行の画像を選択しているときに十字キー（▼）を押すと、次の9画像が表示されます。

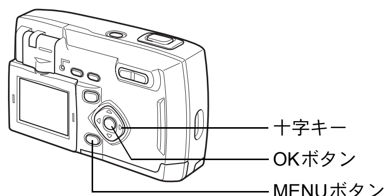




一番最後の画像を選択しているときに十字キー（▼）を押すと、先頭の9画像が表示されます。

3　ズーム/⊞/🔍ボタンの⫶/⊞を押す

選択した画像が1枚表示されます。
動画は、1コマ目の画像が表示されます。



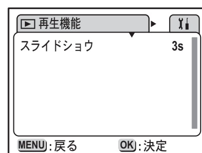
スライドショウで連続再生する

CFカードに保存された全画像を連続して再生します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ

2　MENUボタンを押す

「再生機能」メニューが表示されます。



3　十字キー（▼）で「スライドショウ」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で再生時間を切り替える

3s（3秒）、5s（5秒）、10s（10秒）、15s（15秒）、20s（20秒）、30s（30秒）から選択できます。

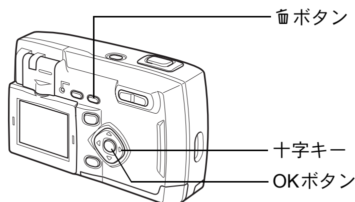
5　OKボタンを押す

設定した時間で再生が開始します。



- 連続再生中に十字キーやMENUボタンなどのボタンを押すと、スライドショウが停止します。
- スライドショウは、ボタンを押して停止させるまで繰り返します。
- 動画は、設定した再生間隔にかかわらずすべて再生されてから、次の再生に移ります。

画像を消去する



1画像ずつ消去する

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したい画像を選ぶ

2 ボタンを押す

消去画面が表示されます。

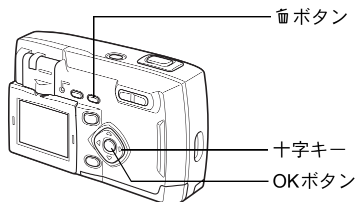


3 十字キー（▲）で「消去」を選ぶ

4 OKボタンを押す



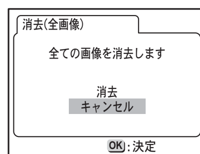
- 画像の消去は、クイックビュー（p.23）で画像表示中に行なうこともできます。
- プロテクト（O‒π）されている画像は、消去できません。



まとめて消去する

保存されている全画像を消去します。

注意
- 消去した画像は復元ができません。
- プロテクトされている画像は消去できません。

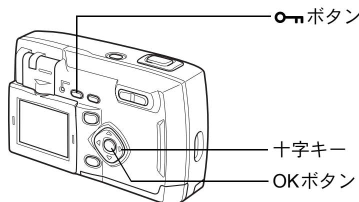


1　再生モードに入り、🗑ボタンを2 回押す

全画像消去画面が表示されます。

2　十字キー（▲）で「消去」を選ぶ

3　OKボタンを押す



消去できないようにする（プロテクト）

画像を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

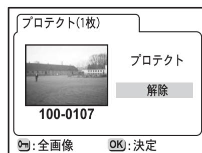
1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプロテクトする画像を選ぶ

2 O-n ボタンを押す

プロテクト画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「プロテクト」を選ぶ

4 OKボタンを押す



メモ

- プロテクトを解除するには、**3**で「解除」を選びます。
- プロテクトされた画像には、再生時にO-nが表示されます。

全画像をプロテクトするには

全画像をプロテクトすることができます。

1 再生モードに入る

2 O-n ボタンを2回押す

全画像プロテクト画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「プロテクト」を選ぶ

4 OKボタンを押す

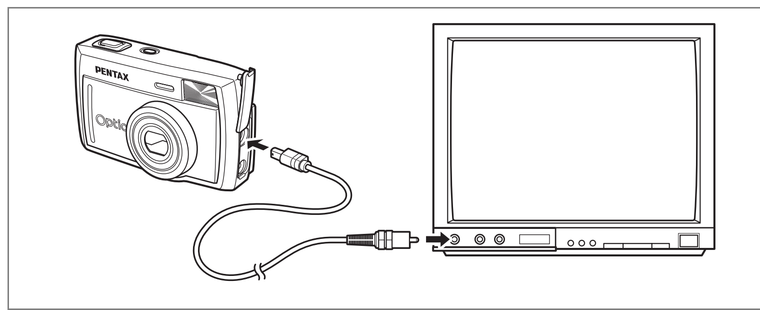
メモ

手順**3**で「解除」を選ぶと、全画像のプロテクト設定が解除されます。

注意

プロテクトされた画像もCFカードをフォーマットすると消去されます。

テレビで画像を見る



ビデオケーブルを使用すると、テレビなど、ビデオ入力端子を備えた機器をモニタにして撮影や再生ができます。ケーブルを接続するときは、テレビとカメラの電源を必ずオフにしてください。

1 端子カバーを開き、ビデオケーブルを接続する

2 ビデオケーブルのもう一方の端子を、テレビの映像入力端子に接続する

3 テレビとカメラの電源を入れる

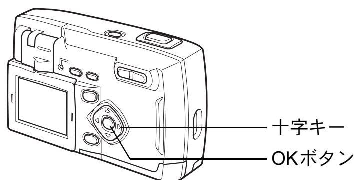
ビデオの出力方式を切り替える☞p.87



テレビに接続しているときは、液晶モニタは常にオフになります。長時間使用するときは、ACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。テレビ等接続する機器の使用説明書もご覧ください。

プリントサービスの設定をする（DPOF）

CFカードに保存した画像は、DPOF（ Digital Print Order Format）対応プリンタやラボプリントサービスでプリントできます。



1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。

●枚数:プリントする枚数を設定します。99枚までの設定ができます。
●日付:プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプリント指定する画像を選ぶ

2　十字キー（▲）を押す

DPOF画面が表示されます。



3　十字キー（◀▶）で「一枚」を選び、十字キー（▼）を押す

選択枠が「枚数」に移動します。

4　十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定し、十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。



5　十字キー（◀▶）で日付の☑と□を設定するを設定する

☑ プリントに日付を入れます。
□ プリントに日付を入れません。

5 再生・消去

6 OKボタンを押す

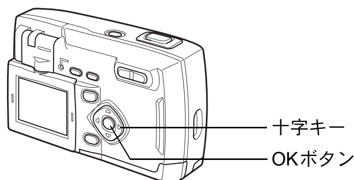
設定した値でプリントできます。



- すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付のオン/オフが表示されます。
- DPOFを解除するには、枚数を「0」に設定して、OKボタンを押します。



- 動画はDPOF設定できません。
- プリンタやプリント取扱い店のプリント機器によっては、DPOFの設定で日付をオンにしても、プリントに日付が写し込まれない場合があります。



全画像を設定する

1　再生モードで十字キー（▲）を押す

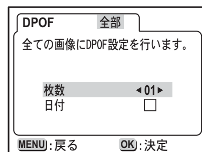
DPOF画面が表示されます。

2　十字キー（◀▶）で「全部」を選び、十字キー（▼）を押す

選択枠が「枚数」に移動します。

3　十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定する

99枚まで設定ができます。



4　十字キー（▼）を押す

5　十字キー（◀▶）で日付の☑と□を設定する

☑ プリントに日付を入れます。
□ プリントに日付を入れません。

6　OKボタンを押す

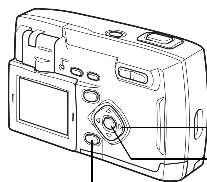
設定した値でプリントできます。



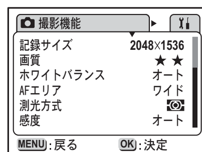
- 全画像設定を行なうと、1画像ずつの設定は解除されます。
- 全画像設定でプリント枚数の指定をすると、すべてのコマに指定した枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。
- 動画はDPOF設定できません。
- 全画像設定でプリント枚数を00枚に設定すると、DPOF設定は解除されます。

カメラの設定をする

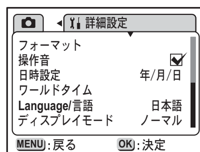
「✎詳細設定」メニューの呼び出しかた



MENU







CFカードをフォーマットする

CFカードに保存されているすべてのデータを消去します。

注意
- CFカードのフォーマット中は、CFカードカバーを開けないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- フォーマットを行なうと、プロテクトされた画像も消去されます。ご注意ください。

1 「✎詳細設定」メニューの「フォーマット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

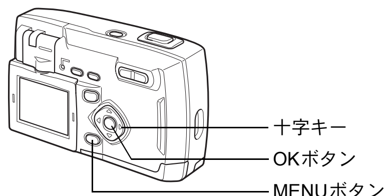
フォーマット画面が表示されます。

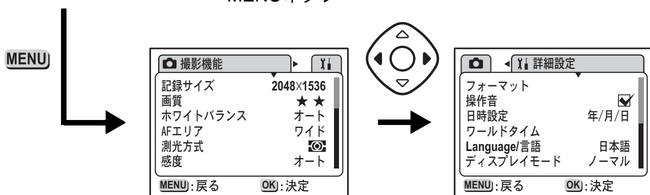
3 十字キー（▲）で「フォーマット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影できる状態になります。

「詳細設定」メニューの呼び出しかた





日付の表示スタイル・日付/時刻を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに表示する日付の表示形式を設定します。「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選べます。

1 「詳細設定」メニューの「日時設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

日時設定画面が表示されます。

日時の設定方法は「初期設定をする」（p.18）をご覧ください。

表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。

1 「詳細設定」メニューの「Language/言語」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

Language/言語設定画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で言語を選ぶ

4　OKボタンを押す

設定した言語でメニュー画面が表示されます。

5　OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

ビデオ出力方式を選択する

テレビをモニタにして撮影や再生をするときの出力形式をNTSC方式とPAL方式から選べます。

1　「詳細設定」メニューの「ビデオ出力」を選ぶ

2　十字キー（◀▶）でモニタにするテレビの出力方式に合わせて、「NTSC」「PAL」を切り替える

3　OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。



日本国内では、NTSC方式です。

操作音をオン/オフする

操作音や動作音をオン/オフできます。

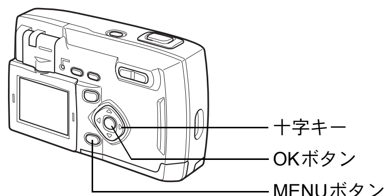
1　「詳細設定」メニューの「操作音」を選ぶ

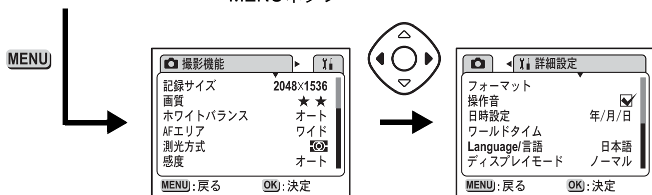
2　十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

3　OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

「詳細設定」メニューの呼び出しかた





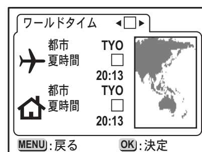
ワールドタイムを設定する

「初期設定をする」(p.18)で設定した日時は、「ホームタイム」(通常使用する国・地域の日時)として設定されます。
「ワールドタイム」を設定しておくと、海外で使用する際、液晶モニタに設定した国・地域の日時で表示できます。

1 「詳細設定」メニューの「ワールドタイム」を選ぶ

2 十字キー(▶)を押す

ワールドタイム設定画面が表示されます。



3 十字キー(◀▶)で☑と□を切り替える

☑ ワールドタイムで選択した国・地域の時刻表示になります。
□ ホームタイムで選択した国・地域の時刻表示になります。

4 十字キー(▼)を押す

ワールドタイムを設定します。
はじめに東京がワールドタイムの対象地域として選択されます。このとき、世界地図上の東京の位置が点滅表示し、✈の「都市」には東京の記号名(TYO)と現地時刻が表示されます。

5 十字キー（◀▶）でワールドタイムの都市を選び、十字キー（▼）を押す

6 十字キー（◀▶）で「夏時間」のオン（☑）／オフ（□）を切り替え、十字キー（▼）を押す

ホームタイムを設定します。
はじめに東京（TYO）がホームタイムの対象地域として選択されます。十字キー（◀▶）でホームタイムの都市や、「夏時間」のオン／オフを変更できます。

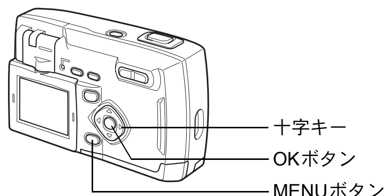
7 OKボタンを2回押す

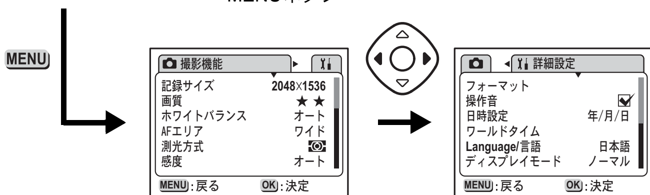
設定した都市の日時で撮影または再生できる状態になります。



指定できる都市および都市の記号名については、p.94をご覧ください。

「🔧詳細設定」メニューの呼び出しかた





表示モードを設定する

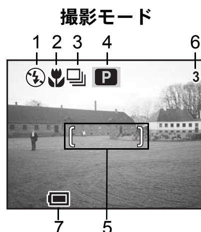
液晶モニタに表示する内容を設定します。「ノーマル」「ヒストグラム」「グリッド」「情報なし」が選べます。撮影モード、再生モードにより表示される内容が異なります。

ノーマル

撮影情報を表示します。

1 ストロボ
2 フォーカスモード
3 撮影方法
4 撮影モード
5 AFフレーム
6 撮影可能残量
7 バッテリーマーク
8 日時
9 シャッター速度・F値
10 フォルダ名・ファイル名

撮影モード



再生モード

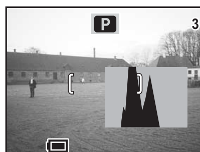


6 設定

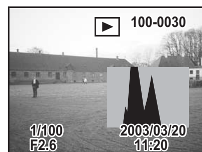
ヒストグラム

明度分布を表示します。横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明い）、縦軸はピクセル数を表わします。

撮影モード



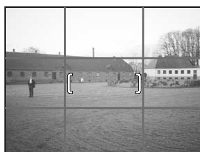
再生モード



グリッド

再生モードではグリッドは表示されません。

撮影モード

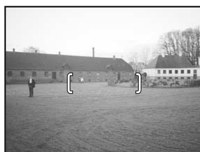


情報なし

撮影情報を表示しません。

- オートフォーカス時には、AFフレームとバッテリーマークが表示されます。
- 設定を変更したときは、数秒間、設定内容を表示します。

撮影モード



1 「詳細設定」メニューの「ディスプレイモード」を選ぶ

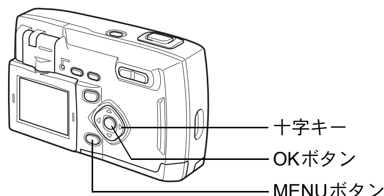
2 十字キー（◀▶）で表示モードを選ぶ

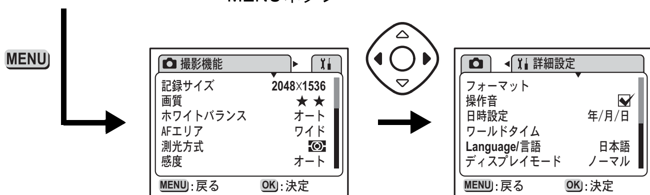
3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

6 設定

「詳細設定」メニューの呼び出しかた





画面効果

液晶モニタの表示を切り替えるときに、割り込みなどのアニメーション効果で表示させることができます。

1 「詳細設定」メニューの「画面効果」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

背景色を設定する

液晶モニタに表示される背景のデザインおよび色を設定します。

1 「詳細設定」メニューの「背景色」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

背景色画面が表示されます。

3 十字キー（◀▲▶▼）で背景色を選ぶ

4 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

オートパワーオフ

一定時間操作しないときに、自動的に電源がオフになるように設定できます。

1 「🔧詳細設定」メニューの「オートパワーオフ」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「3m（3分）」「5m（5分）」「OFF」を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。



スライドショウで再生しているとき、USB接続しているとき、およびACアダプタ使用時はオートパワーオフは働きません。

液晶モニタの明るさを設定する

液晶モニタの明るさを設定できます。

1 「🔧詳細設定」メニューの「LCDの明るさ」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で液晶モニタを見ながら、明るさを調整する

十字キー（◀）を押すと暗くなり、十字キー（▶）を押すと明るくなります。

3 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

設定をリセットする

日時設定、Language/言語、ビデオ出力、日付設定、ワールドタイム以外の設定内容をリセットします。

1 「🔧詳細設定」メニューの「リセット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

リセット画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「リセット」を選ぶ

4 OKボタン を押す

撮影または再生できる状態になります。

都市名一覧

ワールドタイムで指定できる都市、および都市の記号名です。

PPG	パゴパゴ	THR	テヘラン
HNL	ホノルル	DXB	ドバイ
ANC	アンカレジ	KHI	カラチ
YVR	バンクーバー	KBL	カブール
SFO	サンフランシスコ	MLE	マーレ
LAX	ロサンゼルス	DEL	デリー
YYC	カルガリー	CMB	コロンボ
DEN	デンバー	KTM	カトマンズ
MEX	メキシコシティ	DAC	ダッカ
CHI	シカゴ	RGN	ヤンゴン
MIA	マイアミ	BKK	バンコク
YTO	トロント	KUL	クアラルンプール
NYC	ニューヨーク	VTE	ビエンチャン
SCL	サンティアゴ	SIN	シンガポール
CCS	カラカス	PNH	プノンペン
YHZ	ハリファックス	SGN	ホーチミン
BUE	ブエノスアイレス	JKT	ジャカルタ
SAO	サンパウロ	HKG	香港
RIO	リオデジャネイロ	PER	パース
MAD	マドリッド	BJS	北京
LON	ロンドン	SHA	上海
PAR	パリ	MNL	マニラ
MIL	ミラノ	TPE	台北
ROM	ローマ	SEL	ソウル
BER	ベルリン	ADL	アデレード
JNB	ヨハネスブルグ	TYO	東京
IST	イスタンブール	GUM	グアム
CAI	カイロ	SYD	シドニー
JRS	エルサレム	NOU	ヌーメア
MOW	モスクワ	WLG	ウェリントン
JED	ジッダ	AKL	オークランド

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニタに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

空き容量がありません	CFカードに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。新しいCF カードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.15、p.78） 画質または記録サイズを変えると保存できる可能性があります。（p.39、p.40）
画像がありません	CFカードに再生できる画像が保存されていません。
この画像を表示できません	このカメラでは再生できない画像を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
カードが入っていません	カメラにCFカードがセットされていません。（p.15）
電池容量がなくなりました	電池残量がありません。充電式電池の場合は充電器で充電するか、新しい電池と交換してください。（p.12）
カードが異常です	CFカードの異常で、撮影/再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合もあります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないCFカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたCFカードがセットされています。（p.85）
記録中です	画像をCFカードに記録しています。
設定を記録中です	画像のプロテクト設定やDPOF設定を変更しています。
フォーマット中	CFカードをフォーマット中です。
消去中です	画像を消去しています。
フォルダが作成できません	最大のファイルNo.が使用されているため、画像を保存できません。新しいCFカードをセットするか、CFカードをフォーマットしてください。（p.15、p.85）
設定を正しく保存できませんでした	CFカードに容量いっぱいの画像が保存されていて、DPOFの設定がこれ以上できません。
画像を保存できませんでした	CFカードの異常で撮影した画像が保存できませんでした

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	電池が入っていない	電池が入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	CFカードカバーが開いている	CFカードカバーを閉じてください。
	電池の入れかたを間違えている	電池の挿入方向を確認してください。電池室の⊕⊖表示にしたがって電池を入れなおしてください。（p.12）
	電池の残量がない	新しい電池をセットしてください。または、ACアダプタを使用してください。
液晶モニタに何も表示されない	テレビに接続している	テレビに接続しているときは、液晶モニタは常にオフになります（ビデオケーブルI-VC2がカメラに接続されている場合も同様です）。
	表示はされているが、確認しづらい	日中屋外での撮影は、液晶モニタが表示されていても、確認しづらいことがあります。液晶モニタの明るさを設定しなおしてください。（p.93）または、液晶モニタフードをセットしてください。（p.17）
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ストロボランプが赤色に点滅している間は、ストロボが充電中で撮影できません。充電が完了すると赤色に点灯します。
	CFカードに空き容量がない	空き容量のあるCFカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.15、p.78）
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	コントラストの低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、オートフォーカスが苦手なものです。一旦撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	AFエリアに被写体が入っていない	液晶モニタ中央の[　　　]（AFエリア）に、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、AFエリアにない場合は、一旦撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	被写体が近すぎる	フォーカスモードを🌷にセットしてください（p.36）
	フォーカスモードが🌷になっている	フォーカスモードが🌷にセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い	撮るものまでの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。
	背景が暗い	夜景など暗い背景で人物の写真を撮ると、人物は適正露出でも背景にはストロボの光がとどきませんので暗くなってしまうことがあります。バーチャルダイヤル画面で夜景人物モードにセットして撮影すると、人物も夜景もきれいに撮ることができます。（p.53）
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が発光禁止になっている	オートまたは⚡に設定してください。（p.38）
	撮影モードが🎥にセットされているか、連続撮影、または▲モードに設定されている	これらのモードではストロボは発光しません。

7 付録

別売りアクセサリー一覧

本機には、別売りアクセサリーとして以下の製品が用意されています。

ACアダプタキット K-AC5J

USBケーブル I-USB2（同梱品）

ビデオケーブル I-VC2（同梱品）

カメラケース O-CC5

ストラップ O-ST5（同梱品）

主な仕様

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ	
有効画素数	320万画素	
撮像素子	総画素数334万画素、原色フィルタ/インターライントランスファー 1/2.7型CCD	
記録画素数	静止画	2048×1536ピクセル、1600×1200ピクセル、1024×768ピクセル、640×480ピクセル
	動画	320×240ピクセル
感度	オート、マニュアル（ISO100相当、ISO200相当、ISO400相当）	
記録方式	静止画	JPEG（Exif2.2）、DCF 準拠、DPOF 対応、PRINT Image Matching II対応
	動画	AVI（Motion JPEG準拠）、約15フレーム/秒
画質	S.ファイン、ファイン、エコノミー	
記録媒体	コンパクトフラッシュ（CF）Type I	
撮影枚数		

画質 / 記録サイズ	S.ファイン	ファイン	エコノミー	動画（320×240）
2048×1536	8	16	33	30秒×2
1600×1200	13	27	60	
1024× 768	24	50	89	
640× 480	50	89	128	

• 表の数値は16MBのCFカードを使用した場合の枚数

ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、白熱灯、蛍光灯、マニュアル	
レンズ	焦点距離	5.8mm～17.4mm（35mm フィルム換算： 38～114mm相当）
	F値	F2.6～F5.0
	レンズ構成	5群6枚（両面非球面レンズ1枚使用）
	ズーム方式	電動式
	撮影範囲	38.7mm×28.7mmを画面一杯に撮影可能（テレ端でマクロモードおよびマニュアルフォーカス時）
	レンズバリア	電動式
デジタルズーム	撮影時：	最大約2.7倍（光学3倍ズームと合わせ、最大約8倍ズーム相当のズーム倍率）
液晶モニタ	1.5型TFTカラー液晶（バックライト/明るさ調整付） 回転機構付（上下180°、左右180°）	
再生機能	1コマ、インデックス（9画面）、拡大（最大12倍）、スクロール、スライドショウ、ムービー再生	
オートフォーカス方式	方式	撮影素子によるTTLコントラスト検出方式
	撮影範囲（レンズ前面から）	ノーマル：0.4m～∞（ズーム全域） マクロ：0.1m～0.5m（ズーム全域） 遠景：∞（ズーム全域）
	フォーカスロック	シャッターボタン半押しによる

マニュアルフォーカス	0.1m～∞	
露出機構	測光方式	撮影素子によるTTL測光（分割、中央部重点、スポット）
	露出モード	プログラム、ピクチャーモード、夜景、動画、パノラマアシスト、3D、デジタルフィルター
	露出補正	±2EV（1/3EVステップで設定可能）
	動画	撮影時間約1秒～約30秒
	オートブラケット可	
シャッター	型式	メカニカル併用電子シャッター
	速度	約1/1500秒～約4秒
ストロボ	型式	赤目軽減機能付オートストロボ
	発光モード	オート、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減
	撮影範囲	ワイド　約0.2m～約5.0m（感度オート） テレ　　約0.1m～約2.7m（感度オート）
ドライブモード	1コマ撮影、連続撮影、高速連写、2秒セルフ、セルフタイマー撮影	
セルフタイマー	電子制御式、作動時間：約10秒	
時計機能	ワールドタイム設定、世界62都市に対応（28タイムゾーン）	
電源	リチウム電池CR-V3、単3型電池2本、（アルカリ、ニッケル水素、リチウム）、ACアダプタキット（別売）	
バッテリー寿命	約650枚	（ストロボ使用率50％；リチウム電池CR-V3を使用した場合） ※撮影可能枚数は当社撮影条件による目安です
入出力ポート	USB/ビデオ端子（PC通信方式USB1.1）、外部電源端子	
ビデオ出力方式	NTSC/PAL	
大きさ	105（幅）×63（高）×41.5（厚）mm（小突起除く）	
質量	180 g（電池、CFカード含まず）	
撮影時質量	230 g（電池、CFカード含む）	
付属品	リチウム電池CR-V3、3Dイメージビュワー、USBケーブル、ソフトウェア（CD-ROM）、ビデオケーブル、ストラップ、液晶モニタ用フード、使用説明書	

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か当社のお客様相談センターまたは、お客様窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、直接お持ちください。修理品ご送付の場合は、化粧箱などを利用して、輸送中の衝撃に耐えるようしっかりと梱包してお送りください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社のお客様窓口へお届けいただく諸費用はお客様にご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社のお客様窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、当社のお客様相談センターまたは、お客様窓口でお持ちの保証書と交換に発行いたします。[保証期間中のみ有効]

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

メモ

メモ

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス **http://www.pentax.co.jp/**

お客様相談センター（弊社製品に関するお問い合わせ）
〒174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9
営業時間午前 9：00 ～午後 6：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）
0570-001313（市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話、PHS の方は、下記の電話番号をご利用ください。
☎**03-3960-3200**（代） ☎**03-3960-0887** デジタルカメラ専用

［ショールーム・写真展・修理受付］

ペンタックスフォーラム **☎03-3348-2941（代）**
〒163-0401 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 1 階（私書箱 240 号）
営業時間午前 10：30 ～午後 6：30（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

［修理受付］

ペンタックス札幌営業所お客様窓口 **☎011-612-3231（代）**
〒060-0010 札幌市中央区北 10 条西 18-36 ペンタックス札幌ビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス仙台営業所お客様窓口 **☎022-371-6663（代）**
〒981-3133 仙台市泉区泉中央 1-7-1 千代田生命泉中央駅ビル 5 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス名古屋営業所お客様窓口 **☎052-962-5331（代）**
〒461-0001 名古屋市東区泉 1-19-8 ペンタックスビル 3 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス大阪営業所お客様窓口 **☎06-6271-7996（代）**
〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-17-9 パールビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス広島営業所お客様窓口 **☎082-234-5681（代）**
〒730-0851 広島市中区榎町 2-15 榎町ビュロー 3 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス福岡営業所お客様窓口 **☎092-281-6868（代）**
〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町 3-8 パールビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

［宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ］

ペンタックスサービス（株）東日本修理センター **☎03-3975-4341（代）**
〒175-0082 東京都板橋区高島平 6-6-2 ペンタックス（株）流通センター内
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス（株）西日本修理センター **☎06-6271-7996（代）**
〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-17-9 パールビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）



ペンタックス株式会社
〒174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9
ペンタックス販売株式会社
〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1

☆この説明書には再生紙を使用しています。
☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57254
01-200302
Printed in Japan